

12.3期は当初予想値を確保

新中期経営計画を遂行し新たな成長軌道へ

— 素形材・エネルギーは13.3期を底に回復、

産業機械は成長を持続 —

2012年5月18日

株式会社日本製鋼所

代表取締役社長 佐藤 育男

ご注意

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

P2 目次

P3 **第1部 2012年3月期 決算**

P4 (1) 決算概要

P5 (2) セグメント別売上高・営業利益及び受注高の状況

P6 (3) 素形材・エネルギー事業の業績:主要製品別売上高・受注高

P7 (4) 産業機械事業の業績:主要製品別売上高・受注高

P8 (5) 営業利益変動要因分析

P9 (6) 受注残高の推移

P10 (7) 財務体質の推移

P11 (8) 設備投資・減価償却費の推移

P12 **第2部 2013年3月期 業績予想**

P13 (1) 2013年3月期の業績予想

P14 (2) セグメント別売上高・営業利益及び受注高の計画

P15 (3) 素形材・エネルギー事業の計画:主要製品別売上高・受注高

P16 (4) 産業機械事業の計画:主要製品別売上高・受注高

P17 (5) 営業利益変動要因分析

P18 **第3部 中期経営計画 JGP2014**

P19 (1) 新中期経営計画(JGP2014)の概要

P20 (2) 経営基本方針

P21 (3) 中計期間中の売上高・営業利益の推移

P22 (4) 素形材・エネルギー事業の売上高・営業利益推移

P23 (5) 産業機械事業の売上高・営業利益推移

P24 (6) 中計期間中の営業利益変動要因分析

P25 おわりに

P27 **参考資料**

第1部 2012年3月期 決算

(1) 決算概要

(単位:億円)

	11.3期 (A)	12.3期		前期比 (C)-(A)	前回予想比 (C)-(B)
		前回予想 (B)	実績 (C)		
受注高	2,168	2,185	1,993	△ 175	△ 192
売上高	2,129	2,270	2,213	84	△ 57
営業利益 (率)	284 13.3%	220 9.7%	239 10.8%	△ 45	19
経常利益	291	225	233	△ 58	8
純利益	165	125	125	△ 40	0
1株当たり 純利益(円)	44.54	33.68	33.93	△ 10.61	0.25
1株当たり 配当金(円)	12.0	10.0	10.0	△ 2.0	0.0

12.3期の重点取組事項

【素形材・エネルギー】

特別対策委員会活動

WG1. 原子力製品需要予測

WG2. 受注拡大活動 WG3. 操業対策

WG4. 変動費・経費対策 WG5. 中期収益予測

⇒ 原子力発電所事故の影響を最小化

【産業機械】

機械事業部・成形機器システム事業部を統合

◆ 経営資源の有機的活用と技術的知見の融合

◆ 販売・サービスネットワークの融合・拡大

◆ グローバルサプライチェーンの統合・強化

⇒ 受注拡大、コスト低減に寄与

(2) セグメント別売上高・営業利益及び受注高の状況

(単位:億円)

		11.3期 (A)	12.3期		前期比 (C)-(A)	前回予想比 (C)-(B)
			前回予想 (B)	実績 (C)		
素形材・ エネルギー事業	受注高	988	1,005	780	△ 208	△ 225
	売上高	1,129	1,109	1,050	△ 79	△ 59
	営業利益	250	120	115	△ 135	△ 5
	率	22.1%	10.8%	11.0%		
産業機械事業	受注高	1,156	1,157	1,188	32	31
	売上高	976	1,138	1,139	163	1
	営業利益	32	104	115	83	11
	率	3.3%	9.1%	10.1%		

(3) 素形材・エネルギー事業の業績：主要製品別売上高・受注高

売上高・営業利益

(単位：億円)

	11.3期 (A)	12.3期		前期比 (C)-(A)	前回 予想比 (C)-(B)
		前回予想 (B)	実績 (C)		
電力・原子力	433	510	490	57	△ 20
石油精製用圧力容器	284	60	55	△ 229	△ 5
クラッド鋼板・鋼管	147	321	317	170	△ 4
風力発電機器	90	39	39	△ 51	0
その他	102	108	89	△ 13	△ 19
連結会社他	73	71	60	△ 13	△ 11
合計	1,129	1,109	1,050	△ 79	△ 59
営業利益	250	120	115	△ 135	△ 5

受注高

(単位：億円)

	11.3期 (A)	12.3期		前期比 (C)-(A)	前回 予想比 (C)-(B)
		前回予想 (B)	実績 (C)		
	528	380	299	△ 229	△ 81
	38	45	49	11	4
	370	245	228	△ 142	△ 17
	△ 109	92	19	128	△ 73
	105	153	111	6	△ 42
	56	90	73	17	△ 17
合計	988	1,005	780	△ 208	△ 225

(4) 産業機械事業の業績：主要製品別売上高・受注高

売上高・営業利益

(単位：億円)

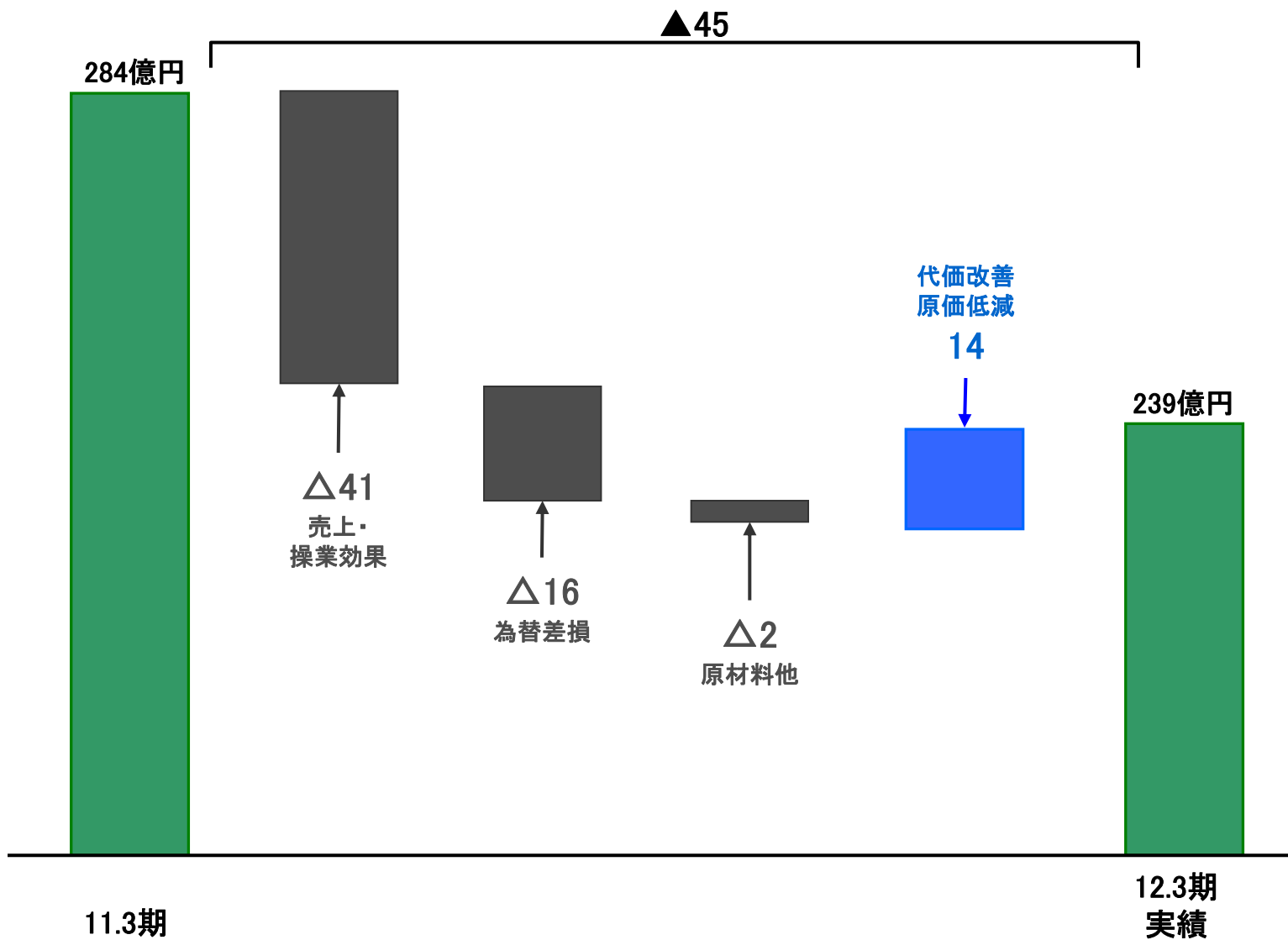
	11.3期 (A)	12.3期		前期比 (C)-(A)	前回 予想比 (C)-(B)
		前回予想 (B)	実績 (C)		
樹脂製造・加工機械	265	351	338	73	△ 13
成形機	320	334	347	27	13
その他	232	347	325	93	△ 22
連結会社他	159	106	127	△ 32	21
合計	976	1,138	1,139	163	1
営業利益	32	104	115	83	11

受注高

(単位：億円)

	11.3期 (A)	12.3期		前期比 (C)-(A)	前回 予想比 (C)-(B)
		前回予想 (B)	実績 (C)		
樹脂製造・加工機械	336	416	373	37	△ 43
成形機	351	349	362	11	13
その他	331	278	287	△ 44	9
連結会社他	138	114	166	28	52
合計	1,156	1,157	1,188	32	31

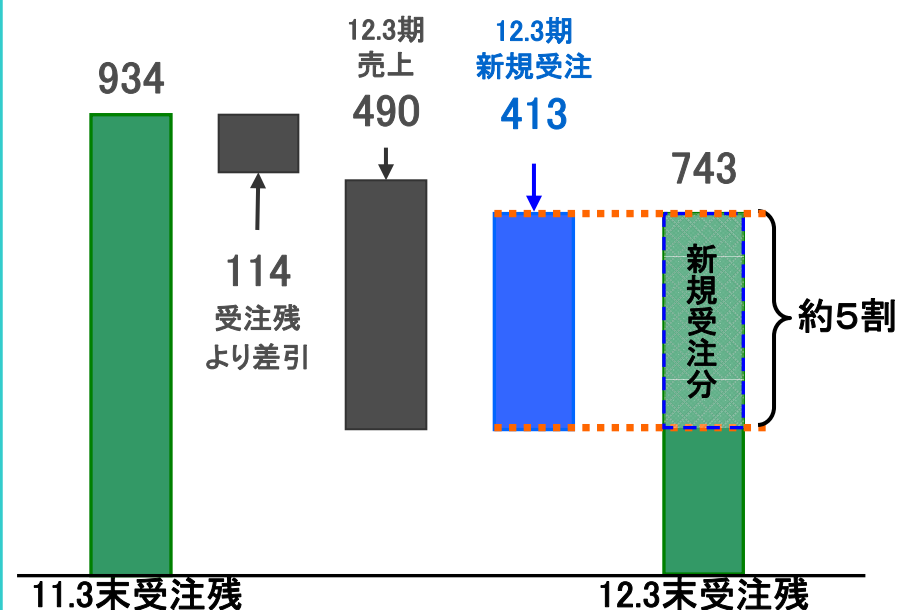
(5) 営業利益変動要因分析



(6) 受注残高の推移

電力・原子力 受注残高の推移

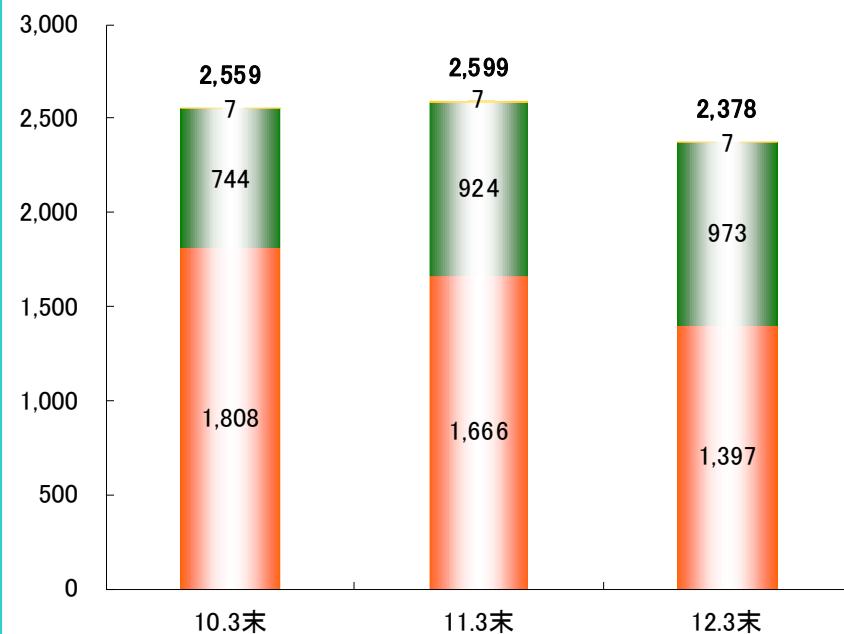
(単位: 億円)



セグメント別受注残高の推移

(単位: 億円)

■ 素形材・エネルギー ■ 産業機械 ■ 不動産その他

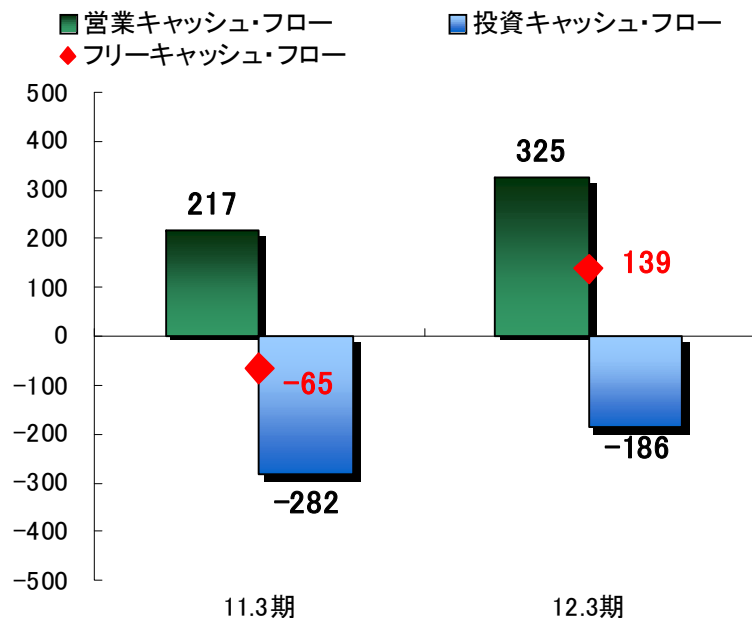


【概況】

- ・ 素形材・エネルギーは、電力・原子力製品の受注減により大幅に減少した。
- ・ 産業機械は厳しい円高環境下、樹脂製造・加工機械、成形機の受注が堅調に増加した。

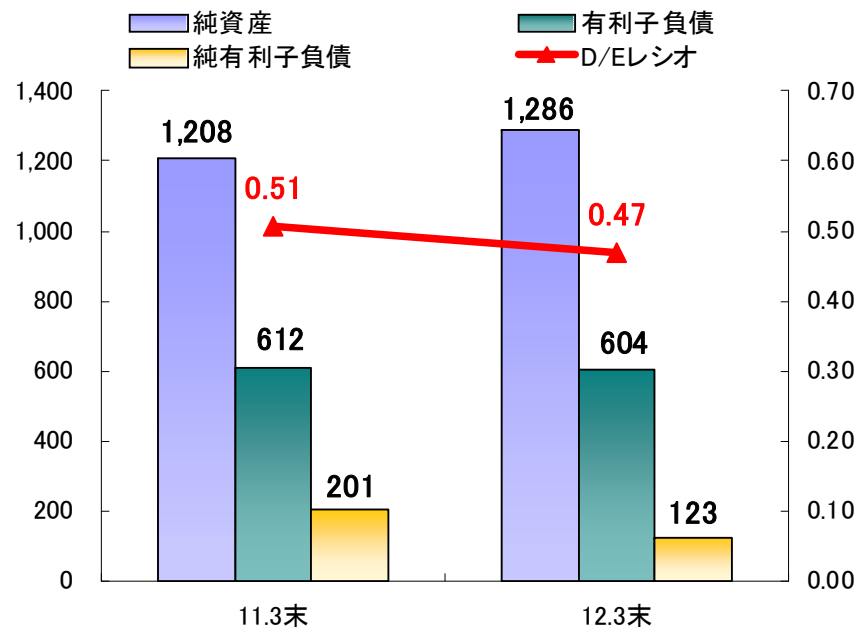
(7) 財務体質の推移

(単位: 億円)



- ・ 大型設備増強の完了による投資の減少により、フリーキャッシュフローは増加した。

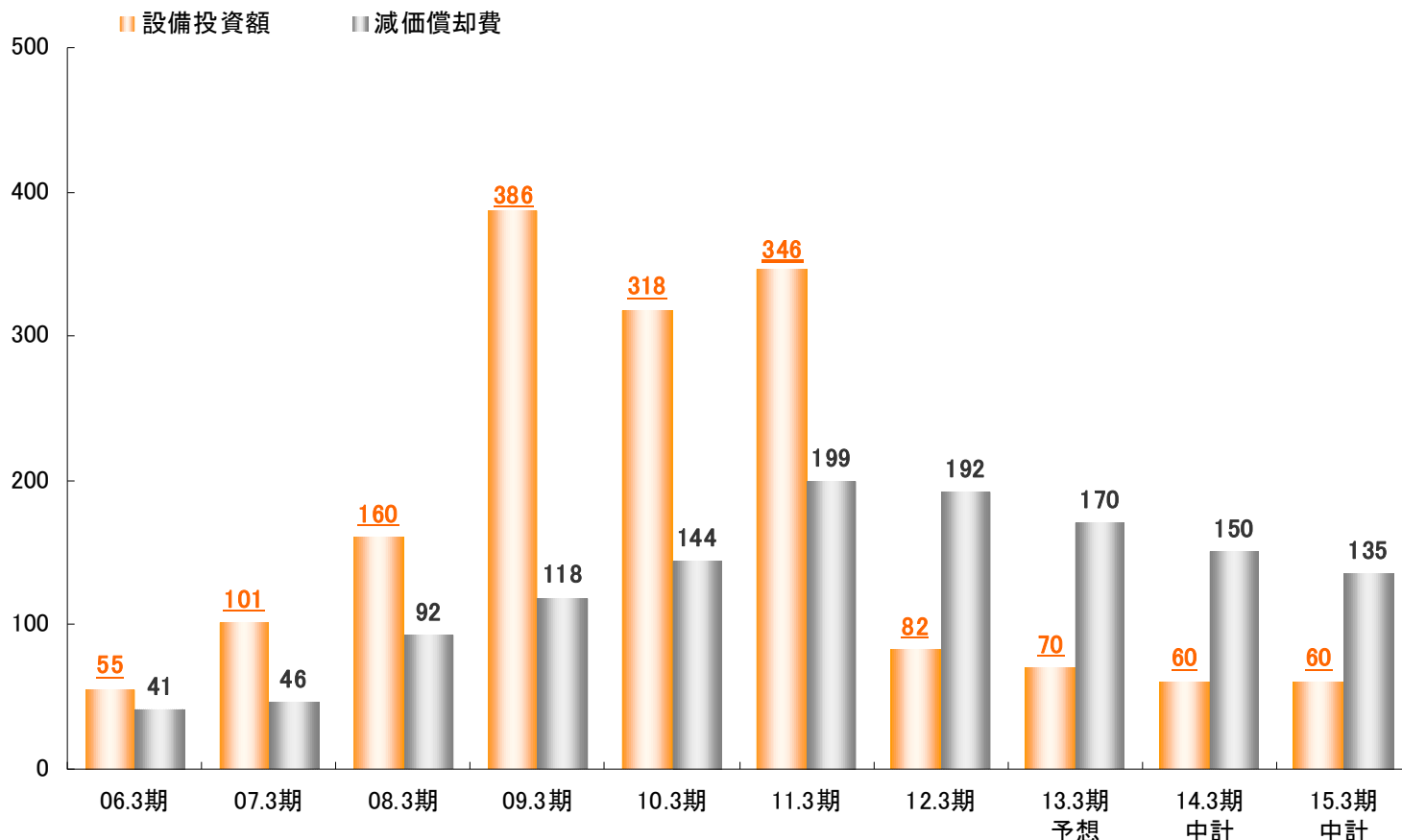
(単位: 億円)



- ・ 純資産の増加により、D/Eレシオは低下。
- ・ 純有利子負債は減少した。
- ・ ROEは10.1%となった。

(8) 設備投資・減価償却費の推移

(単位:億円)



	06.3期	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期 予想	14.3期 中計	15.3期 中計
設備投資額	55	101	160	386	318	346	82	70	60	60
減価償却費	41	46	92	118	144	199	192	170	150	135

第2部 2013年3月期 業績予想

(1) 2013年3月期の業績予想

(単位: 億円)

	12.3期 (A)	13.3期 予想			前期比 (B)-(A)
		上期	下期	通期 (B)	
受注高	1,993	900	1,400	2,300	307
売上高	2,213	1,100	1,150	2,250	37
営業利益	239	60	92	152	△ 87
(率)	10.8%	5.5%	8.0%	6.8%	
経常利益	233	60	90	150	△ 83
純利益	125	35	55	90	△ 35
1株当たり 純利益(円)	33.93	9.43	14.82	24.25	△ 9.68
1株当たり 配当金(円)	10.0	5.0	5.0	10.0	0.00

(2) セグメント別売上高・営業利益 及び受注高の計画

(単位: 億円)

		12.3期 (A)	13.3期予想 (B)	前期比 (B)-(A)
素形材・ エネルギー事業	受注高	780	1,070	290
	売上高	1,050	1,000	△ 50
	営業利益	115	32	△ 83
	率	11.0%	3.2%	
産業機械事業	受注高	1,188	1,210	22
	売上高	1,139	1,230	91
	営業利益	115	126	11
	率	10.1%	10.2%	

(3) 素形材・エネルギー事業の計画：主要製品別売上高・受注高

売上高・営業利益

(単位：億円)

	12.3期 (A)	13.3期 予想 (B)	前期比 (B)-(A)
電力・原子力	490	405	△ 85
石油精製用圧力容器	55	60	5
クラッド鋼板・鋼管	317	310	△ 7
風力発電機器	39	15	△ 24
その他	89	150	61
連結会社他	60	60	0
合計	1,050	1,000	△ 50
営業利益	115	32	△ 83

受注高

(単位：億円)

	12.3期 (A)	13.3期 予想 (B)	前期比 (B)-(A)
	299	415	116
	49	90	41
	228	220	△ 8
	19	190	171
	111	95	△ 16
	73	60	△ 13
合計	780	1,070	290

(4) 産業機械事業の計画：主要製品別売上高・受注高

売上高・営業利益

(単位：億円)

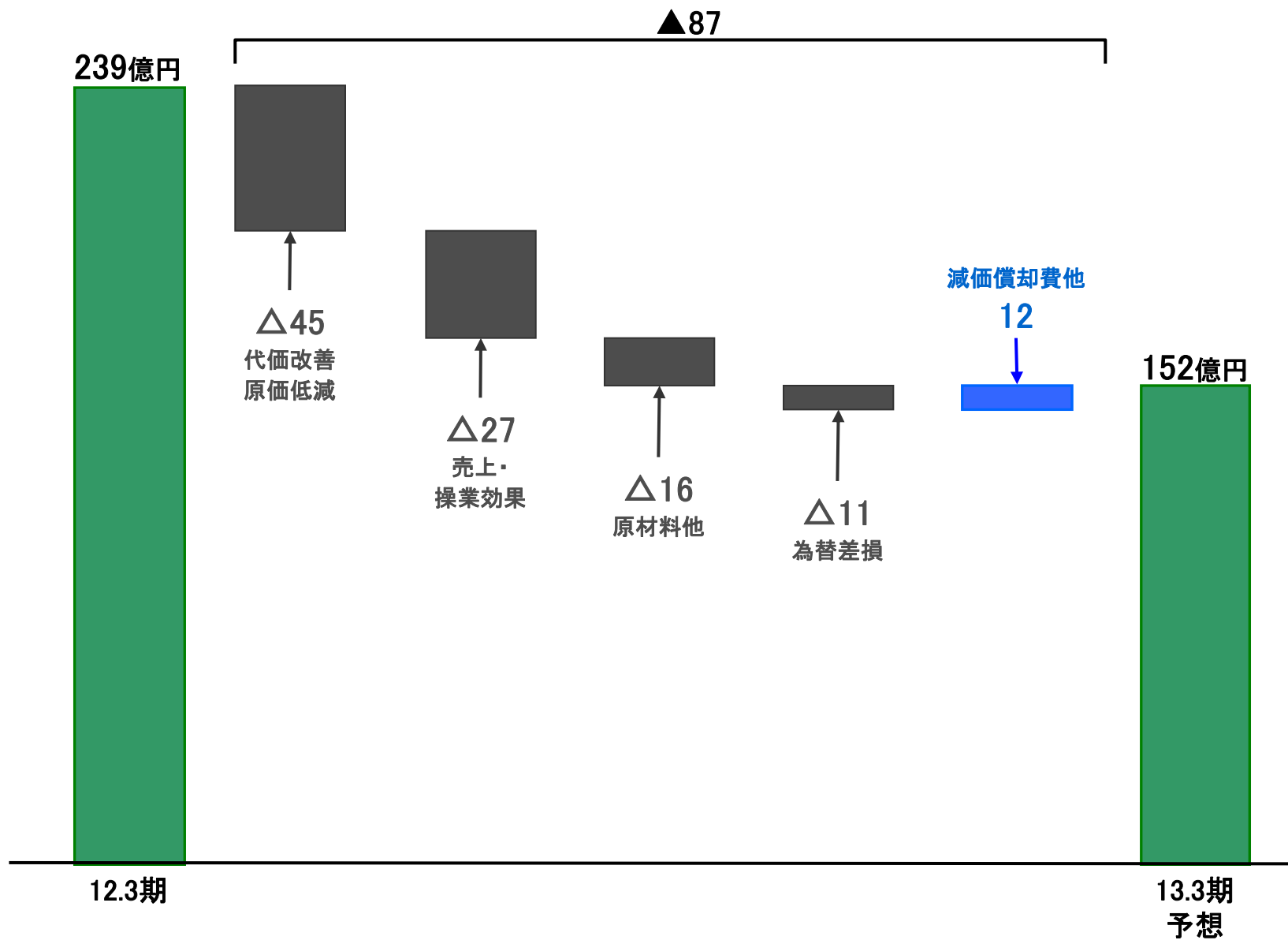
	12.3期 (A)	13.3期 予想 (B)	前期比 (B)-(A)
樹脂製造・加工機械	338	377	39
成形機	347	365	18
その他	325	364	39
連結会社他	127	124	△ 3
合計	1,139	1,230	91
営業利益	115	126	11

受注高

(単位：億円)

	12.3期 (A)	13.3期 予想 (B)	前期比 (B)-(A)
	373	418	45
	362	385	23
	287	295	8
	166	112	△ 54
	1,188	1,210	22

(5) 営業利益変動要因分析



第3部 中期経営計画JGP2014

(1) 新中期経営計画(JGP2014)の概要

グローバルNo.1製品の育成・強化、新たなアライアンスを含むJSWグループ企業の総力結集により
成長市場・成長分野における事業展開を強化し、成長軌道への回帰を目指す

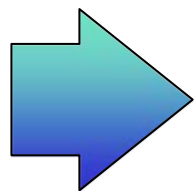
1. 概要

『JGP2014』 : JSW Group Growth Plan FY2012-2014

目指す企業像:

- ◆ ものづくりNo.1グローバル企業グループ
 - No.1製品・サービスを創出し、グローバル市場で戦う企業集団
- ◆ 安定した収益体質と強固な財務基盤を有する企業グループ

2. 数値目標

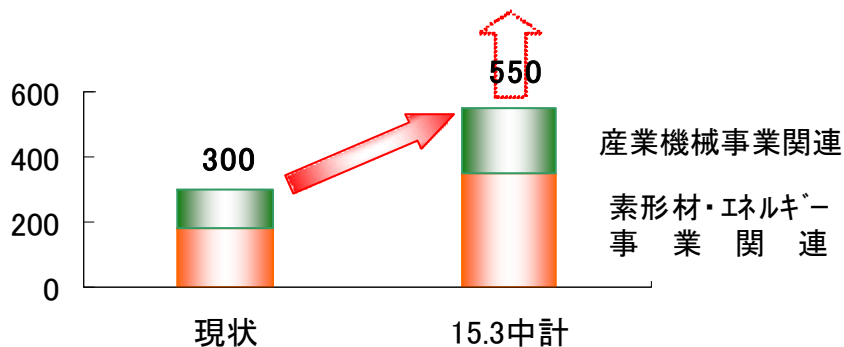


- ◆ 素形材セグメントの回復と産業機械の持続的成長を見込む。
- ◆ ポスト中計に向け事業基盤を足固め。

(2) 経営基本方針

グローバルNo.1製品への育成

- グローバルNo.1プロジェクトをスタート
- 要員・設備・資金を重点投資し、高収益のNo.1製品へ育成
- 事業規模(億円) :



成長市場・成長分野における事業展開強化

- 新興国(内、中国)における事業規模 :
現状 400億円(200億円) → 15.3中計 600億円(350億円)
- 成長分野における取り組み :

エネルギー・環境

- ・ 火力発電効率化への対応
- ・ 原子力第3世代炉・新型炉への対応
- ・ 天然ガス関連製品の拡大
- ・ 風力発電機器製品の再構築
- ・ 二次電池関連製品の育成
- ・ パワーマネジメントシステムの開発

自動車

- ・ 軽量化材料・環境適合材料の製造・加工装置の拡大
- ・ HV・EV用バッテリー関連装置の育成

エレクトロニクス・情報通信

- ・ 情報端末・薄型TV関連装置の拡大
- ・ マイクロ・ナノ加工装置の育成
- ・ パワー半導体製造装置の育成

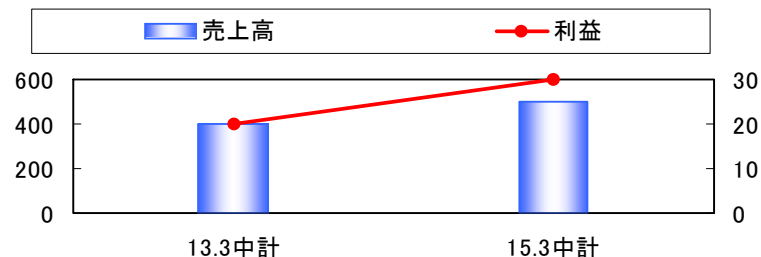
グローバルなものづくりアライアンスの構築

- 自前主義から脱却、アライアンスにより事業展開を加速
- 目的に合わせ、M&A・資本提携・業務提携・技術供与等の適正な形態を選択

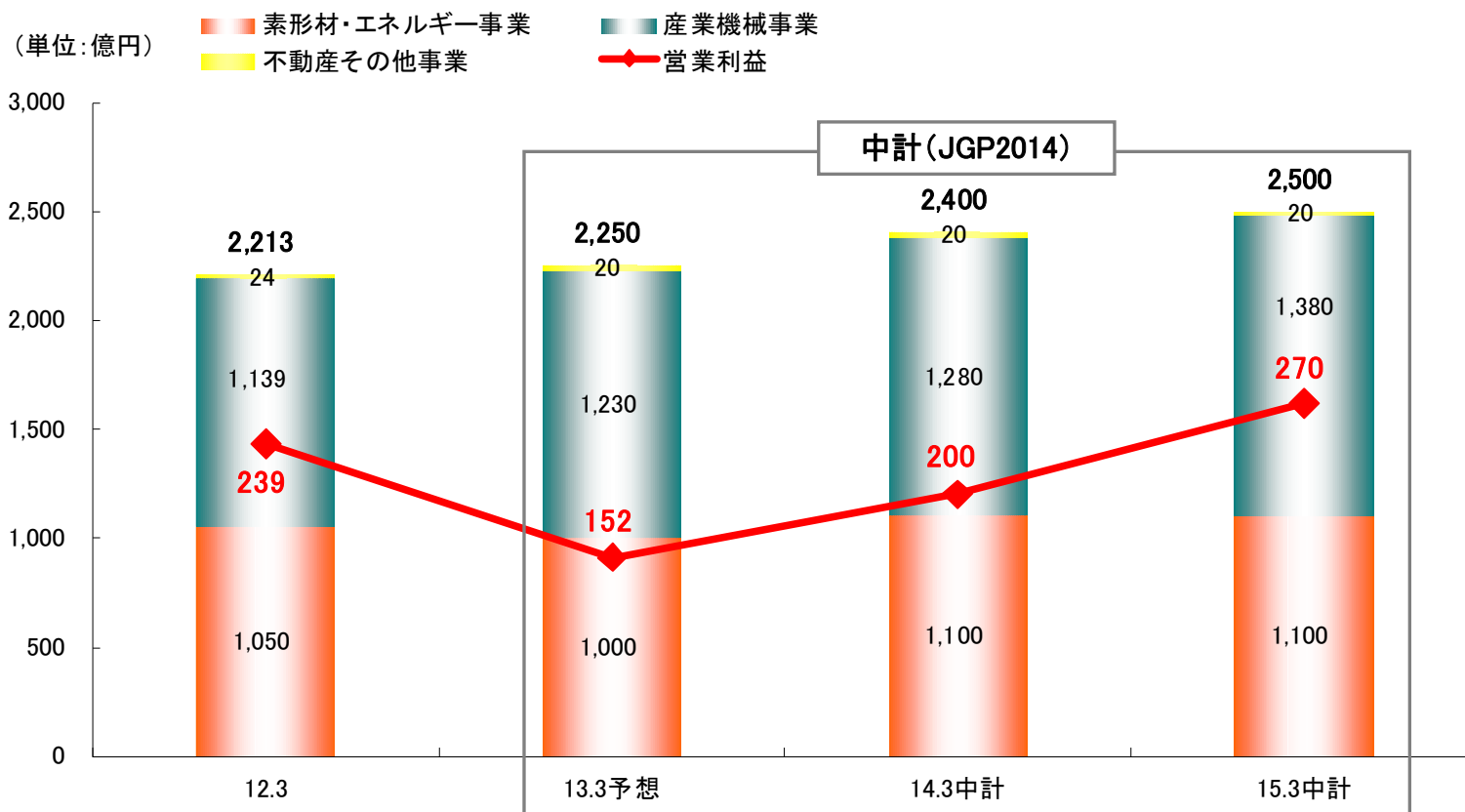
		素形材・エネルギー事業				産業機械事業		
		電力原子力	石油精製圧力容器	クラッド鋼板管	風力発電機	樹脂製造加工機械	成形機	その他機
目的	市場開拓型	新規						
	新規事業型		強化					
	製造補完型							

企業基盤の強化

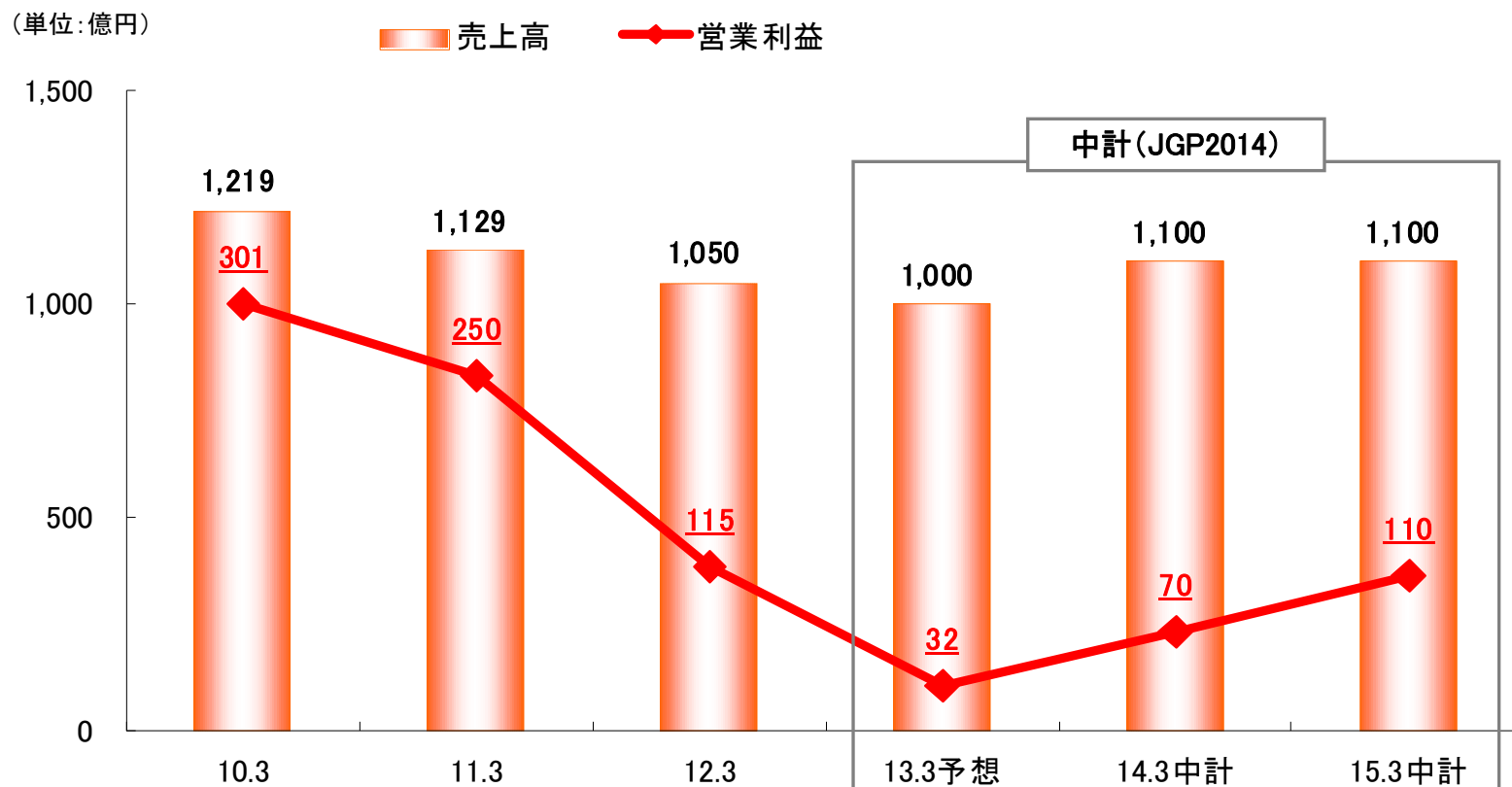
- グループ経営の強化
- グローバル人材の育成
- 戦略投資の実施(設備投資 60億円/年、研究開発投資 50億円/年、その他戦略投資 100億円+ α /3ヶ年)
- 外販主体関連10社の事業計画(億円) :



(3) 中計期間中の売上高・営業利益の推移



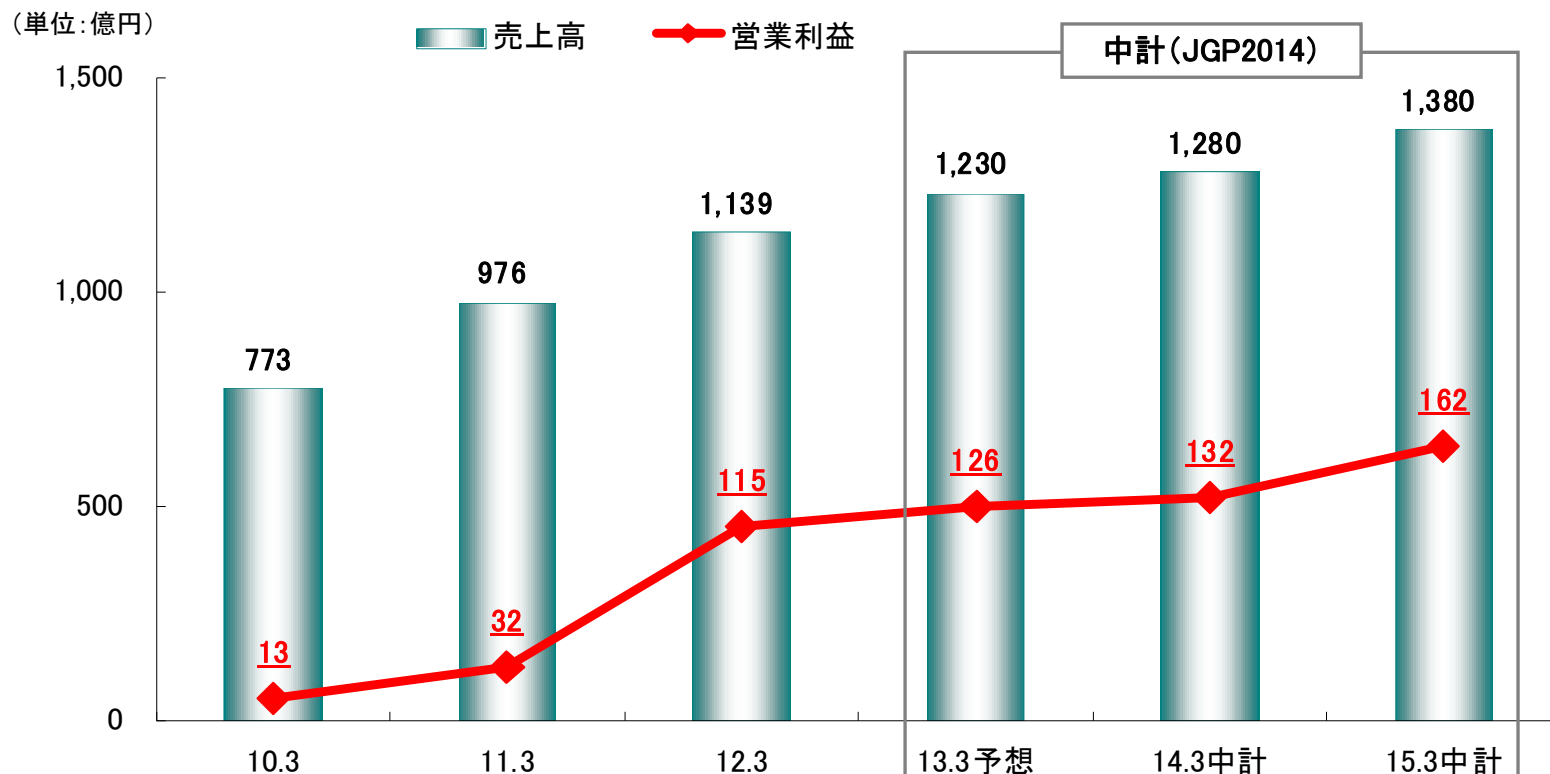
(4) 素形材・エネルギー事業の売上高・営業利益推移



【基本戦略】

- 原発新興国のフォローにより、電力・原子力製品の規模を堅持(450~500億円)
- 需要の追い風をつかみ、クラッド鋼板・鋼管および風力発電機器を拡大
- グローバル・アライアンスの構築により、価格競争力を補強
- 稼働率向上により、新鋭設備を戦力化
- 新分野製品・新規事業を開拓

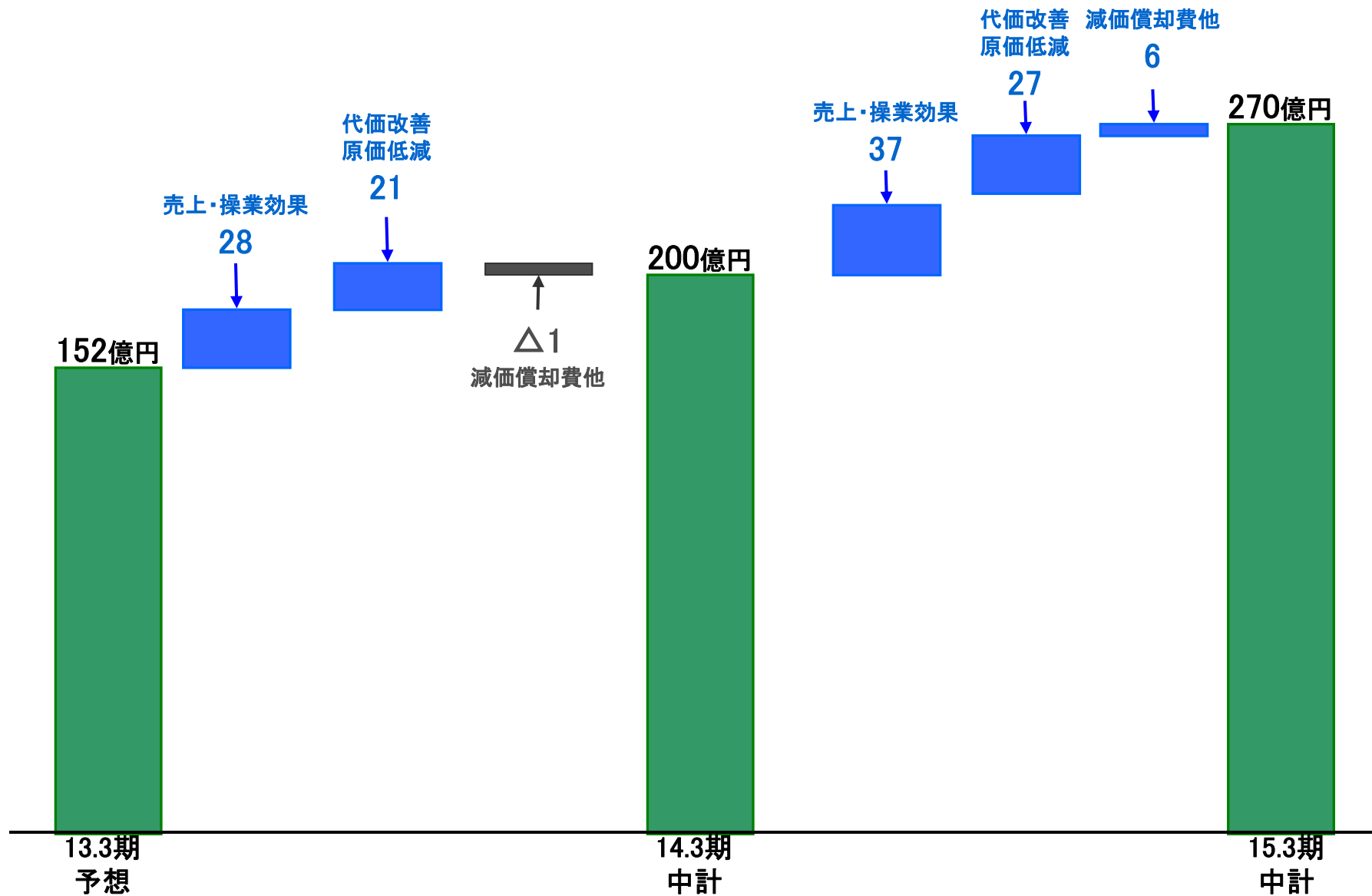
(5) 産業機械事業の売上高・営業利益推移



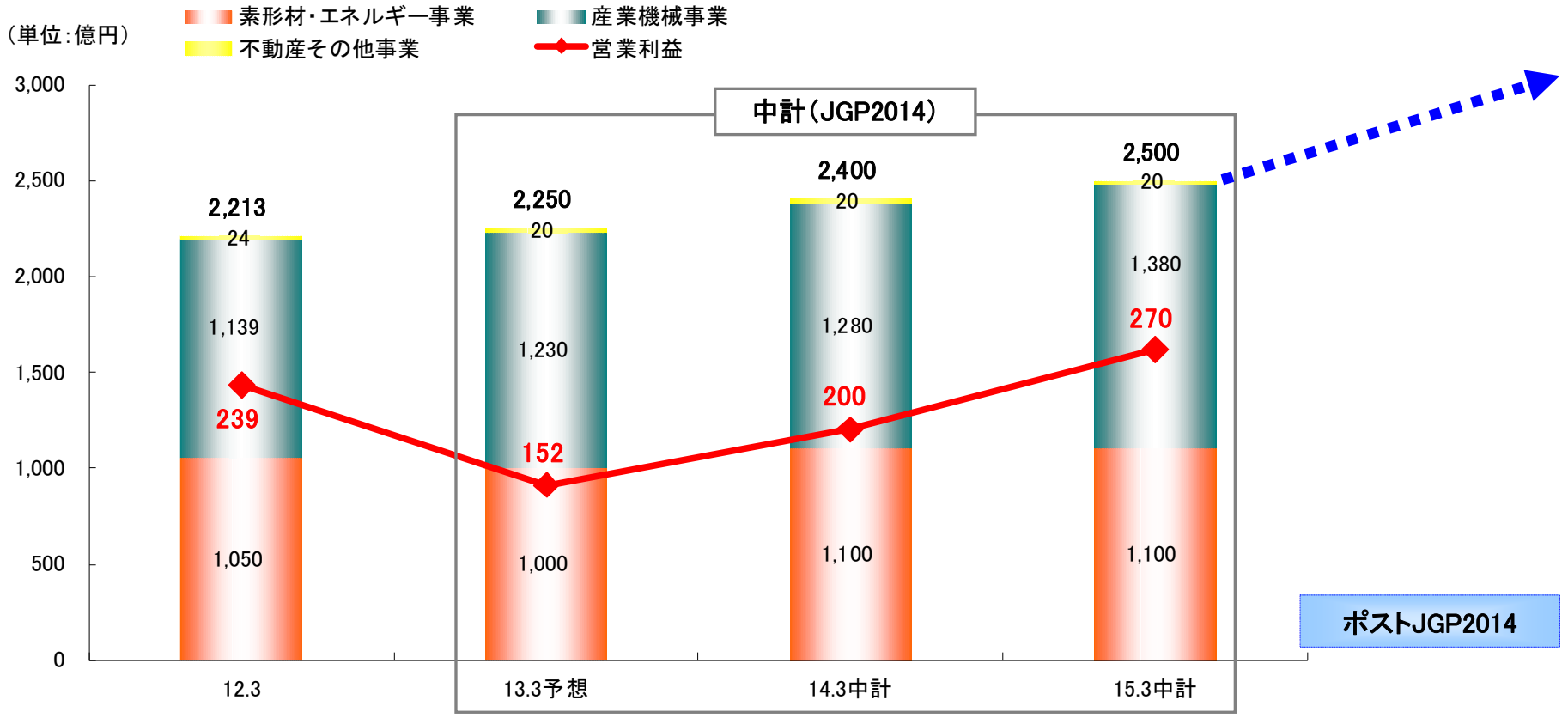
【基本戦略】

- 製品差別化により、グローバル認知度を向上
- 体制の整備・強化により、サービス事業を拡大
- プロセス技術の確立により、プラント製品を拡大
- 価格競争力の強化により、新興国需要を取り込み
- プラットフォーム技術の融合により、新分野製品を開拓

(6) 中計期間中の営業利益変動要因分析



おわりに



売上高3,000億円規模を実現すべく、現中計期間中に布石を打つ

素形材・エネルギー事業： 幅広くエネルギー関連製品を擁し、新興国需要に対応する体制(製造・販売)を構築

産業機械事業： 差別化技術強化による収益拡大と、新製品投入等、成長市場・成長分野での事業規模拡大

“ものづくり”力を高めるべく、多様なアライアンスのあり方を検討・実現していく

JSW 日本製鋼所

【参考】主要製品別売上高の推移

(単位:億円)

		10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予想	14.3期中計	15.3期中計
電力・原子力		458	433	490	405	460	470
石油精製用圧力容器		250	284	55	60	80	80
クラッド鋼板・鋼管		182	147	317	310	250	250
風力発電機器		188	90	39	15	160	165
その他		70	102	89	150	90	75
連結会社他		71	73	60	60	60	60
素形材・エネルギー 計		1,219	1,129	1,050	1,000	1,100	1,100
樹脂製造・加工機械	連結	222	265	338	377	416	475
	単体	202	247	313	351	388	445
成形機	連結	167	320	347	365	399	435
	単体	133	243	249	260	285	310
その他		255	232	325	364	297	310
連結会社他		129	159	127	124	168	160
産業機械 計		773	976	1,139	1,230	1,280	1,380
不動産その他 計		24	24	24	20	20	20
合計売上高		2,016	2,129	2,213	2,250	2,400	2,500

【参考】主要製品別受注高の推移

(単位:億円)

		10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予想	14.3期中計	15.3期中計
電力・原子力		585	528	299	415	470	480
石油精製用圧力容器		28	38	49	90	80	80
クラッド鋼板・鋼管		203	370	228	220	250	250
風力発電機器		272	△ 109	19	190	190	190
その他		60	105	111	95	90	80
連結会社他		85	56	73	60	60	60
素形材・エネルギー 計		1,233	988	780	1,070	1,140	1,140
樹脂製造・加工機械	連結	283	336	373	418	450	472
	単体	267	310	350	390	420	440
成形機	連結	186	351	362	385	410	449
	単体	155	273	268	270	285	312
その他		275	331	287	295	375	373
連結会社他		97	138	166	112	155	146
産業機械 計		841	1,156	1,188	1,210	1,390	1,440
不動産その他 計		24	23	23	20	20	20
合計受注高		2,098	2,168	1,993	2,300	2,550	2,600